



世界へはばたけ

WAP NEWS

宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト

第13号 2024年9月1日
宮崎ワールドアスリート発掘・育成
プロジェクト実行委員会事務局

第13回育成プログラム
-2024.9.1-

第1回ヒアリング(シニア全体説明)

将来的に取り組む競技の専門化を図るための「全体説明会」が行われました。競技の継続・転向への考え方や多様なスポーツ環境を踏まえたうえでのキャリアデザインについて確認がなされました。



★ワールドアスリート修了生の講話

森 結希

(宮崎学園高等学校3年) **バドミントン競技→ハンドボール競技**



森さんは三股中時代、バドミントン部で活躍されていました。その後、競技種目体験で興味を惹かれたハンドボール競技に転向し、県内トップの宮崎学園ハンドボール部に入部しました。三股から電車で通学しながら勉強とハンドボールに取り組みました。県大会では常に優勝し、今年のインターハイでもベスト8の成績を残しました。今年は惜しくも優勝したチームに敗れましたが、最後まで諦めずにゲームを展開しました。森さんには、WAPでの活動が今の自分にどのように繋がっているのか話していただきました。

川野 円子

(県立宮崎大宮高等学校3年) **水泳競技→カヌー競技**



川野さんは本郷中時代、水泳部で活躍されていました。WAPで様々な競技に触れる機会があり、そのなかでカヌーに競技転向し、県立宮崎大宮高校カヌー部に入部しました。6月に開催された全九州高校体育大会ではカヤックシングルとペアの2種目で優勝、7月にブルガリアで開催された世界ジュニア選手権に日本代表として出場されました。川野さんには学業とカヌー競技をどのように両立しているのか、そして、ブルガリアに行った際に困ったことなど海外ならではのお話もしていただきました。

鬼塚 知花

(県立高鍋高等学校3年) **陸上競技→ホッケー競技**



鬼塚さんは唐瀬原中時代、陸上部で活躍されていました。高校では県立高鍋高校ホッケー部に入部し、県高校総体で優勝、九州大会でも19年ぶりの優勝を果たされました。北部九州インターハイでは、本県のホッケー競技では最高の3位に入賞することができました。また、8月に開催された国民スポーツ大会への出場をかけたブロック大会では見事優勝し、九州1枠の出場権を獲得しました。鬼塚さんにはホッケー競技の魅力や普段どのようなタイムスケジュールで1日を過ごしているのかなど、興味深いお話をしていただきました。

[WAP NEWSは県スポ協のホームページでもご覧いただけます。]

<https://www.miyazakiken-taikyo.jp>

宮崎県スポーツ協会

検索

スポーツCLUB

